

新しい耳

TESSERA

テッセラ 第27回 音楽祭

音楽は、
本能を呼び覚ましてくれるもの。
力を、呼び起こしてくれるもの。

廻由美子
ピアニスト(新しい耳主宰)

2020年

11月1日(日)~3日(火)・祝

第1夜 11月1日(日) [15:30開場] 16:00開演

松平敬 (br.) × 中川賢一 (pf.)
~冬の旅~

第2夜 11月2日(月) [18:30開場] 19:00開演

田中信正 (pf.) × 廻由美子 (pf.)
~春の祭典~

第3夜 11月3日(火)・祝 [15:30開場] 16:00開演

高橋悠治の耳 vol.13
~修羅の子供たち~

サロン・テッセラ salon TESSERA

全席自由 ■ 各夜5,000円

■ <3夜通し券> 13,500円

■ <2夜券> (お好きな2夜をお選びください) 9,000円

各公演
30席限定



学生券 ▶ 全日半額 (Web受付のみ) / ミミトモ会員 ▶ 特典あり

(学生券、ミミトモ会員の詳細はWeb ▶ <http://www.atarashii-mimi.com>にてご確認ください)

主催 ■ テッセラ音楽祭実行委員会

マネジメント・お問合せ ▶ オーパス・ワン
info@opus-one.jp ▶ 03-5577-2072

インターネットお申込み ▶ <https://www.atarashii-mimi.com>

プレイガイド
チケットぴあ ▶ t.pia.jp ▶ Tel.0570-02-9999 (Pコード187-343)

会場ではマスク着用、検温へのご協力をお願いいたします。

「現代の表現者」2人による「冬の旅」!

松平敬 (br.) × 中川賢一 (pf.)

～冬の旅～

フランツ・シューベルト: 白鳥の歌 D957 より
漁師の娘/街/アトラス/影法師
(詩: ハインリヒ・ハイネ)

フランツ・シューベルト: 冬の旅 D911
(詩: ヴィルヘルム・ミュラー)
(12曲目と13曲目の間に休憩あり)

松平敬 (バリトン) Takashi Matsudaira

東京芸術大学卒業、同大学院修了。現代声楽曲のスペシャリストとして、湯浅譲二、松平頼暁、高橋悠治、西村朗など150曲以上の作品を初演。これまでサントリーホール・サマーフェスティバル、新国立劇場、コンポーザム(東京オペラシティ文化財団)などに出演。CD録音においては、一人の声の多重録音を駆使した「MONO-POL」(平成22年度文化庁芸術祭優秀賞)など3枚のアルバムを発表。チューバの橋本晋哉氏との「低音デュオ」名義でも2枚のCDをリリース。2019年2月には、シュトックハウゼンのほぼ全作品を網羅した著書「シュトックハウゼンのすべて」を出版(第32回ミュージックペンクラブ音楽賞受賞)。

中川賢一 (ピアノ) Ken'ichi Nakagawa

桐朋学園大学音楽学部でピアノと指揮を学び、卒業後、ベルギーのアントワープ音楽院ピアノ科首席修了。1997年オランダのガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。帰国後は、ソロ、室内楽、指揮で活躍する他、国内外の様々な音楽祭に出演。NHK-FMなどに度々出演、新曲初演多数。ダンスや朗読など他分野とのコラボレーションも活発。指揮者として、東京室内歌劇場、東京フィル、広響、仙台フィル他と共演。東京フィル、札幌、水戸室内管等ではピアノ演奏とトークのアナリゼを展開し好評を博す。現代音楽アンサンブル「アンサンブル・ノマド」のピアニスト、指揮者。(一財)地域創造公共ホール音楽活性化事業登録アーティスト。お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。



© Lasp Inc

© Shuhei NEZU

ジャズ&モダン・アートな2人、予測のできないデュオ!

田中信正 (pf.) × 廻由美子 (pf.)

～春の祭典～

田中信正: ピアノ・ソロ
エイトル・ヴィラ=ロボス: ブラジル風パッサ
第5番よりアリア (2pf.)
アストル・ピアソラ: ブエノスアイレスの四季 (2pf.)
イーゴリ・ストラヴィンスキー: 春の祭典 (4手版・2pf.)

田中信正 (ピアノ) Nobumasa Tanaka

4歳より電子オルガンをはじめ、16歳でピアノに転向。国立音楽大学作曲学科中退。クラシックピアノを小難裕子、ジャズピアノを藤井英一、橋本一子、佐藤允彦各氏に師事。1993年横濱ジャズブルームナード第一回コンペティションで、グランプリ及び個人賞ベストプレイヤー賞受賞。共演者と創り上げる自由で即興性に富んだ演奏活動は、JAZZのフォーマットばかりではなく多岐に渡る。現在は、数多くのユニットのメンバーとしてライブやレコーディングに参加している。2014年からは超弩級ユニット「田中信正トリオ作戦失敗(落合康介b、橋本学ds)」を始動し、2015年11月、CD「作戦失敗」2018年10月「キティ組曲」をリリース。

廻由美子 (ピアノ) Yumiko Meguri

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業の後、渡米し、ジョルジュ・シェベックに学ぶ。帰国後は多彩な演奏活動を展開。バロックから現代に至る20枚に及ぶCDを国内外でリリース。海外メディアにも多数取り上げられる。国内外の作曲家やジャンルを超えたアーティストとのコラボレーションも数多く、ドイツをはじめ世界各国の現代音楽祭に招聘される。ドイツWERGO社、カナダのCMC (centre de musique canadienne) よりCDがリリースされており、いずれも高い評価を受けている。2019年、シアター・オリムピクス参加。現在、桐朋学園大学音楽学部教授。2007年よりテッセラ音楽祭「新しい耳」主宰。



音楽が、高橋悠治によって、本来の力を出現させていく

高橋悠治の耳 vol.13

～修羅の子供たち～ ゲスト: 工藤あかね (ソプラノ)

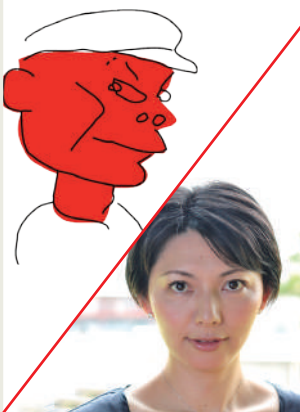
Gyula Csapó: Orpheid (2020)
高橋悠治: 祖母のうた (詩: 木村迪夫) (2015)
Johann Jakob Froberger:
Tombeau fait à Paris sur la mort de Monsieur Blancrocher (1652)
戸島美喜夫 (1937-2020): ヴェトナムの子守唄 (1980)
高橋悠治: 黒い河 (俳句: 山本幡男) (2020) 初演
Ferruccio Busoni: Berceuse (1905)
高橋悠治: 修羅の子供たち (詩: 藤井貞和) (2013)

高橋悠治 (作曲・ピアノ) Yuji Takahashi

1960年草月アートセンター。
1974-76年季刊誌「トランソニック」
1978-85年「水牛楽団」「水牛通信」/著書:「高橋悠治/コレクション1970年代」
「音の静寂 静寂の音」(平凡社)「きっかけの音楽」「カフカノート」(みすず書房)

工藤あかね (ソプラノ) Akane Kudo

東京藝術大学卒業。これまでサントリー芸術財団「サマーフェスティバル」、「Tokyo Experimental Festival」、「Tête à Tête The Opera Festival (ロンドン)」、「ダ・ヴィンチ音楽祭in川口」などに出演。テッセラ音楽「新しい耳」ではシェンベルク「グレの歌」第一部全曲を歌った(ピアノ: 廻由美子)。身体表現を伴う作品をはじめ、数多くの初演を行う。ヴィエルク「憂鬱と絶望」、シュルホフヤウルマン歌曲の蘇演、サティ「ソクラテス」、シェンベルク「架空庭園の書」、メンアン「ハワイ」などの大規模歌曲も手がけている。第1回「柳慧コンテンツポラリ賞」。妻役で出演したフランチェスカ・レロイ「THE 鍵KEY」が第19回佐治敬三賞。



いつも感動に
出会える
Yamaha GINZA

ヤマハ銀座店

TEL:03-3572-3171 (代)
【営業時間】 平日 11:00-19:30 / 土・日・祝 10:30-19:30
【定休日】 第2火曜日
〒104-0061 東京都中央区銀座 7-9-14
株式会社ヤマハミュージックリテイリング 銀座店
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、営業時間・定休日に変更になる場合がございます。最新情報はヤマハ銀座店Webサイトをご覧ください。



〈次回予告〉

新しい耳 第28回 テッセラ音楽祭

- 第1夜 ■ 2021年5月14日 金 (18:30開場) 19:00開演
山田剛史 (pf.) ~不屈の民~
- 第2夜 ■ 2021年5月15日 土 (15:30開場) 16:00開演
工藤あかね (sop.) & 廻由美子 (pf.)
~月に憑かれたピエロ~
- 第3夜 ■ 2021年5月16日 日 (15:30開場) 16:00開演
寺嶋陸也 (pf.) の耳vol.6 ピアノ・ソロ ~幻想II~

〒154-0004
東京都世田谷区
太子堂4-22-6 4階
[東急三軒茶屋駅 徒歩1分]

三軒茶屋駅から
当ホールへの行き方

東急田園都市線三軒茶屋駅地下からお越しの場合は、地下道を東急世田谷線への案内看板に沿って進み、エスカレーターで地上へ。東急世田谷線改札(地上)の向かいとなります。

